

# 校歌に込められた思い 校歌に込める思い (2)

# 熊中だより

校長室通信  
第 5 号  
北九州市立熊西中学校  
校長 安部朋恵

ふれあい合宿が終わり、1年生の明るい声が学校に戻ってきました。雨天のため、予定していたプログラムを一部変更しましたが、雨雲を吹き飛ばさんばかりの元気で、3日間を無事に終えることができました。1年生のみなさんの頑張りやをねぎらうと共に、お家の方々のご協力にお礼を申し上げます。

さて、2日目の夜の「キャンドルの集い」のなかでは、「校歌合戦」が行われました。学級ごとに明るく元気に校歌(1番)を歌って、競い合いました。

校歌を元気に歌えるようになった1年生ですが、せっかく歌うのならば、校歌に思いを込めてほしい。そこで、2月の熊中だよりで取り上げた「校歌に込められた思い 校歌に込める思い」の第二弾をつづってみようと思います。

二 緑濃き 王子の森に かしこくも 宮居鎮まる 見よや 熊中 誉の母校 身を修め 徳を磨きて 蛍雪の 試練に結ぶ 蕾 蕾ぞ ああわれら	熊西中学校 校歌 作詞 山田繁雄 作曲 森脇憲三
---	--------------------------------

今日は校歌 2 番の歌詞にある「誉の母校」について、みなさんと考えてみたいと思います。

「誉」という言葉は辞書には「ほめられて光栄あること」「評判のよいこと」と載っていました。

しかし、ピンときませんでした。校歌に取り上げられている言葉です。ただ単に、他からほめられる学校であってほしいという願いだけではないと感じたからです。

ネットも使って「誉」という言葉をさらに調べてみると、「立派なふるまいと同時に、『周囲への影響力』も想像させる漢字」と紹介しているサイトがありました。

これを読んで、「誉の母校」とは、一人一人の「立派なふるまい」つまりすぐれた行動が、周りの友だちにもよい影響を与える素晴らしい学校である。私はそう解釈しました。学校生活のなかでお互いがよい影響を与えあえば、みんなの力が伸びていくことでしょう。立派なふるまい、すぐれた行動…皆さんはどんな行動を思い浮かべますか?熊中生一人一人の立派なふるまいとすぐれた行動で、互いにより影響を与え合い、みなさんの学校生活を充実させましょう。

1 年生 ふれあい合宿  
写真ギャラリー

